

下水協

CIPP2資器材をⅡ類登録

SGICP-G更生材 INS-GL更生材 主要工法出揃う

日本下水道協会は9月1日付で、Ⅱ類認定適用資器材「下水道用繊維強化プラスチック製管更生材」として、湘南合成樹脂製作所のSGICP-G工法用更生材と、日鉄パイプライン&エンジニアリングのインシチュフオーム工法用管更生材(INS-GL)をⅡ類認定資器材に登録。各製造工場を認定工場に認定した。



湘南合成樹脂製作所
(SGICP-G)



日鉄P&E(INS-GL)

SGICP-G工法用 工場(石岡市)で、INS-GLは同31日に日鉄P&E松伏工場(埼玉県松伏町)でそれぞれ性能確認強化タイプ、INS-G

等審査を実施。その後の工場調査等を経て今回、認定工場制度への適用となった。

SGICP-G工法用更生材は、通常のポリエスチレンフェルトに加え補強材としてグラスファイバーフェルトを採用した更生材で、反転・形成双方の施工方式に対応が可能なのが特長。認定範囲はφ150～700まで。

一方、INS-GL更生材はオールガラスを採用した自立管タイプの更生材で、平成27年ごろに海外から技術導入し国内で普及を進めてきた。φ150～800が対象。

9月23日に都内の下水道協会議室で認定書交付式が開かれ、製造者らが岡久宏理事長から認定証票および認定書を受け取った。岡久理事長は「今回の認定工場制度適用を追い風にさらなる実績構築に努めていただき、わが国の老朽化対策の進展に貢献を期待したい。品

性能確認等審査委の様



質確保が重要な管きよ更生工法だからこそ、品質管理により一層注力いただければ」と激励した。現場硬化型管更生材(CIPP系)について

材)、6工場が登録されており、今回新たに2資器材がラインアップに加わったことで主要工法がおおむね出揃った。

は、平成25年に「現場硬化型繊維強化プラスチック製管更生材」としてⅡ類に指定され、現在までに5資器材(シームレスシステム・アルファライナー・オールライナー・FT-S・パルテムSZ工法用管更生